

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表								
事業所名	てらびあぽけっと 平野西教室							
公表日	2026年 2月 20日							
利用児童数	16	回収数	5					
環境・体制整備	1	チェック項目 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見 ホール・個室共に十分確保されていると思う。	ご意見を踏まえた対応 今後も活動内容に合わせて、ホールと個室を使い分けながら、安全に活動できるスペースを確保していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5				適切であると思う。	今後も、マンツーマンで寄り添った支援を継続できるように職員配置に努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5				分かりやすく、安心している。	お子様・保護者様に分かりやすいように、見える位置に表示物を貼っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5				非常に清潔で安心感がある。	清潔な状態を維持できるよう、定期的な清掃・整理整頓に取り組んでいきます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5				専門性があると感じている。	専門的な知識を持って支援できるよう、今後も研修等で理解を深めていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5				満足している。	今後も、公表しているプログラムと同じ内容を提供できるように努めています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5				細かく作成されている。	今後も、アセスメントでお子様の状況を聞き取り、ニーズに合わせた計画書作成に取り組んでいきます。
	8	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5				されていると思う。	今後もガイドラインに合わせて、支援内容を決定し、計画書に記載していきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5				されていると思う。	今後も、職員全員で計画書を共有し、計画に沿って療育を進めています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5				その都度、工夫があり、飽きずに通えている。	様々な活動プログラムを取り入れ、お子様が楽しく来所いただけるように工夫していきたいと思います。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2		1		利用者に関わらず、誰でも参加できるイベントを開催しています。また、保育所等の対応が可能な場合は、積極的に連携していきたいと考えています。今後も地域に開かれた施設を目指していきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5				丁寧な説明があった。	今後も契約時に詳しく説明し、ご不明な点がないか確認した上で、サービス提供を開始していきたいと思います。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5				丁寧な説明があった。	今後も、支援内容を細かく説明し、ご理解いただきたい上で、署名をお願いしたいと思います。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1			家族支援プログラムには、十分満足している。	フィードバックの中で、個別に相談援助等の家族支援を行っています。また、イベントでお子様の様子を知ってもらい、情報提供の機会を設けているが、今後もより良い家族支援プログラムを実施できるよう検討していきたいと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	5				十分できていると思う。	今後も、毎回のフィードバックの時間を大切にしながら、保護者様と共通理解を図っていきたいと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5				十分できていると思う。	今後も、定期的な面談の他、保護者様からご要望があつた際にも迅速に面談の機会が設けられるよう、対応していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5				十分できていると思う。	今後も、保護者様に寄り添いながら相談支援・助言ができるように努めています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1				保護者の交流、きょうだいの交流ができるようにイベントを開催しています。今後も、定期的に機会を設けられるよう、検討していきたいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5				即、対応してもらっている。	今後も、ニーズに合わせてご家族様支援・相談支援ができるように体制を整えていきたいと思います。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5				十分できていると思う。	今後も、お子様や保護者様と言葉や表情で意思疎通を図っていきたいと思います。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5			十分できていると思う。	今後も、週に1回以上のベースでSNSを通して、事業所の情報を発信していきたいと思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5			十分できていると思う。	今後も全職員が個人情報の保護を遵守し、業務にあたるよう徹底してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4		1	十分できていると思う。	全てマニュアルを作成し、職員・保護者様共に確認できるように事務所内・靴箱上に設置しています。また、避難訓練は年2回実施し、SNS等で様子を公開しています。再度、周知を徹底していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5			十分できていると思う。	今後も避難リュックを定期的に点検し、年2回以上避難訓練を実施していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5			十分できていると思う。	今後もお子様の安全を第一に考え、支援を行っていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5			十分できていると思う。	今まで事故が発生したケースはありませんが、万が一今後発生した場合は状況等詳しく説明いたします。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	5			先生への信頼感があり、安心している。	お子様が安心して過ごせるように、今後も職員が笑顔で関わっていきたいと思います。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	5			楽しみにしている。	今後も、てらびあぽけっとの来所を楽しみにしているよう、取り組んでいきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	5			・個人にあった支援をしてもらえている。 ・てらびあぽけっとに通い始め、子どもの成長スピードがすごく上がりました。それはマンツーマンで自信をつけてくれ、その子によって色々な工夫がなされているからです。感謝しかありません。親へも気づきがあり、言語化して提案をしていただけるので、親としての成長もでき、すごく助かります。すごく素敵なお施設なので、子どもの成長に悩んでいる人を見かけるとオススメしています。これからも通わせていただきます。	お子様・保護者様に寄り添い、質の高い丁寧な支援を心掛けています。今後も、お子様・保護者様共に満足いただける事業所作りに努めてまいります。

事業所における自己評価結果

公表	事業所における自己評価結果				
事業所名	てらぴあぽけっと 平野西教室				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		個室と大部屋(ホール)があり、個別と小集団等用途に応じて、使用しています。また、保護者様に安心してお話しいただける相談室も確保しています。	
	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		お子様の特性に合わせて、寄り添いながら療育を進めていけるよう、基本的にはマンツーマンの職員配置をしています。	
	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		事業所は2階にありますが、1階からエレベーターで上がる事が出来ます。事業所内は玄関からワンフロアで段差はなく、バリアフリーの構造となっています。	
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		空気清浄機の使用・換気をし、清潔な空気を保てるよう心掛けています。また、掃除や玩具・ドアノブ・机・椅子等の消毒は毎日行っています。	
	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		お子様の様子や要求に応じて、個室でも大部屋でも遊ぶことが出来ます。落ち着きたい時は個室、広々と遊びたい時は大部屋等、状況に応じて一緒に場所を選んでいます。	
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		どの職員も発言しやすい雰囲気づくりをし、毎日の朝礼・終礼の時間を大切にしています。また、目標を設定するだけではなく、振り返りを必ず行っています。	
	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		今回が初めての評価表ですが、いただいた意見を真摯に受け止め、改善につなげていきたいと思います。	
	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		日々、職員でコミュニケーションを密にしながら、職員の意見の把握に取り組んでいます。また、必要に応じて速やかに話し合い、改善に努めています。	
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		今年からサービス提供を実施している為、今後第三者の意見も踏まえながら、業務改善につなげていきたいと思います。
	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		月単位での研修が豊富にあり、療育の実践につなげています。また、職員同士ロールプレイでプログラム内容を確認しています。	
適切な支援の提供	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		カリキュラムアセスメント825を用いて、支援プログラムを作成し、保護者様にも理解しやすい形で公表しています。	
	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		アセスメントでは、保護者様が話しやすい環境(相談室)で、丁寧に聞き取るように心掛けています。また、ニーズや課題を整理し、お子様に合った計画書の作成に努めています。	
	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		日々終礼の中で、お子様の様子を共有しているので、全職員の意見を参考にしながら計画書の作成をしています。また、作成後はカンファレンスで意見を出し合い、検討しています。	
	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		カンファレンスで、支援の方向性や内容を明確に伝え、計画に沿った支援が出来るように工夫しています。	
	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		行動の前後の状況をシートに記入したり、職員間で話し合ったりしながら、行動分析を行っています。	
	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		5領域を踏まえながら計画書を作成し、具体的な支援内容になっているか、確認をしています。	
	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		お子様に合わせたプログラムを立案する為に、全職員で意見を出し合いながら、進めています。	
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		強化子も固定しないように、遊びの売り込みで様々な玩具に触れられるように心掛けています。また、多種のカードやプリント等を活用しながら、療育を進めています。	
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		基本的には、マンツーマンの個別で療育を進めていますが、お子様の発達段階やニーズに合わせて、計画を作成し、支援しています。	
	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝礼で、その日の打ち合わせを必ず行っています。来所予定のお子様や担当職員、過ごす部屋等、細かいところまで確認するように意識しています。	
	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		終礼では、お子様一人ひとりの様子や保護者様とのフィードバック内容を共有し、業務日報に記録しています。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	お子様一人ずつにファイルを準備し、毎回プログラム内容やデータの記録を取るようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	モニタリングでは保護者様と面談し、一緒に振り返る時間を設けています。職員間でも振り返り、見直しの必要性を検討しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		現在、サービス担当者会議に参画したことはありませんが、今後必要があれば、児童発達支援管理責任者が参画予定です。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	必要に応じて、関係機関と情報を共有し、連携する体制を整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	計画書には必ず、移行支援の内容を取り入れ、支援を行うようにしています。また、必要に応じて保育所や幼稚園と情報共有をしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	就学先を保護者様に確認し、スムーズに移行できるように、必要に応じて情報共有をしています。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	地域の間わりも大切にしながら、一緒にお子様や保護者様を支えていけるように考えています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	5	保育所や認定こども園、幼稚園等に挨拶にお伺いしたり、誰でも参加できる地域だけのイベントを開催したりする等に取り組んでいます。	
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	毎回のフィードバックの中で、せらびーのーとをお見せしながら丁寧に伝え、共通理解を図っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアメント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	ご家族様の悩み事に対して、対応方法を全職員で考え、様々な方法をご提案できるように心掛けています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	見学時や契約時には、分かりやすい言葉で丁寧な説明を心掛けています。また、ご不明な点等がないか、必ず利用開始前に確認するようにしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	お子様や保護者様の意志を尊重し、計画書を作成しています。また、説明時には意向の確認をしています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	サービス提供開始前には、必ず支援内容の説明を丁寧に行い、同意した上で署名していただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	毎回のフィードバックの中で悩み事がないか確認し、必要に応じて個別に相談する機会を設ける等、支援を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	イベントの中で、利用者の保護者様同士交流する機会を設けています。また、同じクールで利用されているきょうだいの間わり方も支援しています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	相談等の申し入れがあった際は、迅速に対応するよう心掛けています。個別に時間をとって、ゆっくりお話をできるように配慮しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	インスタグラムやHP等を活用し、週に1回以上のベースで教室の情報を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	個人情報は必要最低限の範囲で使用するよう、細心の注意を払っています。	
	43	障害のあることや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	相手の気持ちを汲み取りながら、理解できるように努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	イベント開催時には、近隣の放課後等デイサービスのお子様や職員の方にご参加いただきました。今後も、地域に開かれた事業運営に取り組んでいきたいです。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	年に2回、避難訓練を実施しています。また、すべてのマニュアルを作成し、誰でも確認できるよう、事務所内・玄関に保管しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	BCPの研修や訓練を行なながら、いつでも対応できるように備えています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	アセスメントで必ず、確認を行っています。また、児童発達支援管理責任者のみではなく、他職員にも共有しています。	

非常時等の対応	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	現状、必要なお子様が居ない為指示書の提出・対応はしていません。食事提供はありませんが、アレルギーについては確認し、全職員で共有しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	安全計画を作成し、年に1回研修を行っています。安全に教室運営ができるよう、取り組んでいます。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	災害時の避難場所や避難経路については、誰でも確認できるように玄関に掲示しています。また、契約時に安全計画について説明も行っています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	日頃からヒヤリハットを記録に残し、終礼等の場で全職員に共有しています。また、安全計画研修の中でも振り返り、同じことが起こらないように努めています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	虐待防止研修・委員会を年に1回は実施しています。また、職員の言動について、管理者が確認し、虐待防止に努めています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	身体拘束の研修・研修・委員会を年に1回は実施しています。原則、身体拘束は行わずに支援しています。

事業所における自己評価総括表

公表				
○事業所名	てらびあぽけっと 平野西教室			
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 2日 ~ 令和7年 12月 20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	5
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 2日 ~ 令和7年 12月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	マンツーマンの個別療育で、お子様に合わせた支援を実施できる。	保護者様からの聞き取り(アセスメント)を丁寧に行い、お子様の発達段階や特性に合わせて、個別の支援をしています。また、日によって違う職員が担当することで、色々な先生との関わりが持てるよう、配慮しています。	個別療育を基本にしながら、お友達との関わり(ソーシャルセラピー)に発展させ、より集団生活や日常生活に般化させていけるように考えていきたいです。また、就学プログラムの充実化を図り、就学支援・移行支援にも引き続き取り組んでいきたいと思います。
2	教室が新しく、清潔な環境で気持ちよく療育を受けることができる。	毎日、掃除の時間を設けて、清潔な状態を維持できるよう、心掛けています。また、机や椅子・ドアノブ・教材・玩具等も毎日消毒し、感染症対策にも取り組んでいます。さらに、週に1回は大掃除の時間を設けて、より細かい部分まで掃除し、気持ち良く利用者様を迎えるよう努めています。	今後も、こまめな掃除や教材・玩具の手入れに取り組み、清潔な状態を維持できるよう、努めてまいります。また、清潔な状態を維持しつつ、お子様の興味や発達段階に合わせて、教材や玩具を増やしていきたいと考えています。
3	家族支援プログラムの実施により、保護者様と密なコミュニケーションがとれる。	保護者様がお迎えに来られた際、個室でのフィードバックにより、その日のお子様の様子や課題に取り組む姿勢、成長が見られた点等、細かくお伝えするように心掛けています。また、ご家族様の悩み事については、フィードバック以外でも時間を設ける等の工夫をしています。	よりお子様や保護者様に満足していただけるように、ニーズを整理しながら、丁寧にお伝えできるように取り組んでいきます。また、ご家庭でも取り組める内容や関わり方等、様々なご提案ができるように職員自身の専門性を高めていきたいと思います。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎がなく、保護者様の負担が大きい。	送迎がないことで、保護者様の負担が大きいことや園に通っている為、希望の利用時間帯が被ってしまうことが挙げられます。マンツーマンの個別療育を大切に考えている為、送迎に必要な人員の確保が難しい現状です。	共働き世帯の増加により、送迎のニーズの高さは感じていますが、一方で毎回保護者様と顔を合わせて、お子様のお話をできる良さも感じています。保護者様の負担を少しでも減らせるように、良い方法を検討していきたいと思います。
2	教室のオープン時に合わせて、入職した職員が多く、セラピー経験が浅い。	どの職員がセラピーを行っても、質の高い一貫したセラピーが行えるように、職員間でロールプレイやプログラム内容の確認等をしっかりと行っています。また、月単位で研修を受講し、知識を深め専門性を高める努力をしています。	今後も研修等を活用しながら、どの職員も質の高いセラピーが行えるように努めてまいります。また、お子様の情報を共有し、職員で話し合いながら、プログラムを決定し、療育に取り組んでいきます。
3	保護者様同士の交流や知域との交流の場が少ない。	てらびあぽけっとの利用に関わらず、誰でも参加できるイベント等の実施をしているが、利用外の保護者様への認知が低い要因が考えられます。また、共働き世帯の増加により、保護者様の参加が難しいケースもあります。	季節ごとの制作や療育プログラムの体験等、内容にバリエーションを持たせて実施を検討していきます。引き続き、SNS等様々な媒体で周知徹底をしていきます。また、保護者様のニーズや参加しやすい時間帯等、柔軟に対応していきたいと考えています。